

【短歌・俳句・川柳・詩】記入上のきまり

《 書く前に必ず読んでください 》

- 1 短歌・俳句・川柳は5首5句とし、詩は1篇（35行以内）をお守りください。
- 2 短歌・俳句・川柳は原稿用紙1枚、詩は規定の原稿用紙2枚以内（35行以内）です。
- 3 原稿は「縦書き」で「楷書で正しく、ハッキリと」清書してください。なお、ワープロ・パソコンでもさしつかえありませんが、原稿用紙の記入の仕方や文字数、行数を必ず守ってください。（原稿用紙の行数と文字数 ⇒ 縦書き 24字×20行）  
※記入にあたっては裏面の記入例を参照してください。
- 4 文章は原則として現代仮名遣い、常用漢字を用いてください。（短歌・俳句・川柳はこの限りではありません）  
なお、短歌・俳句・川柳については、どちらの仮名遣いにするか、部門名の上に「現」または「旧」と明記してください。  
漢字の特別な読み方の場合は、振り仮名をつけてください。
- 5 原稿用紙『右上端』のワクの中に、短歌・俳句等の参加部門を書き入れてください。  
題名は2行目に、氏名（またはペンネーム）は4行目に、本文の書き出しは6行目から書き出してください。
- 6 短歌・俳句・川柳の場合、5首（5句）はそれぞれ1行空けてください。詩の場合、「」や（）はそれぞれ1字とみて各1マス使用してください。（行末の場合を除く）
- 7 1枚目の原稿用紙『左端』に、部門・氏名・住所・電話番号等を必ずご記入ください。（年齢については、任意で記入をお願いします。）  
また、横書き枠内には自分宛の郵便番号・住所、氏名をハッキリと部門毎に書いてください。貴方さまへのお知らせに使います。（これ以外の使用はありません）
- 8 メールで投稿する場合は、件名は「文芸むらかみ第17号作品投稿」とし、本文に、部門名・氏名・ペンネーム（掲載希望の場合）・住所・電話番号を明記してください。  
※作品はメール本文ではなく、必ず添付ファイルで送信してください。

【お願い】 . . . もう一度確認していただき、以上のきまりを必ずお守りください。  
募集要項やこのきまりに沿っていない場合、受付ができず、修正のお願いや、一度お持ち帰りいただく場合があります。  
締め切り間際は窓口が混雑します。また、修正などお願いする場合がありますので、余裕を持った提出に御協力ください。

【記入例】 短歌・俳句・川柳・詩

「旧」 短歌

現・旧いずれかの  
仮名遣いを記載（詩は不要）

文芸むらかみ原稿用紙

24 字 × 20 行

書き出し		名前を書く		題名を書く	
ふ	みづうみの氷は解けてなほ寒し三日月の影波にうつろ	良い例	文芸誌の記載名になります ↓ 名前またはペンネーム	題名	
我が家の犬はいづこにゆきぬらむ今宵も思ひいでて眠れる	※短歌・俳句・川柳は、5首5句としてください	悪い例	なるべくボールペンを使用し、楷書で正しく、ハッキリと清書してください	題名	
	※詩は、1篇（35行以内）としてください	みづうみの氷は解けて	↑×句間はあけない	題名	

1枚目だけお書き下さい

部 門	氏 名	ペンネーム	住 所	電 話

公民館活動への作品使用  
(どちらかに○) 可・否 ( 歳 )

忘れずに  
記入してください  
(年齢は任意です)

ご自身の  
郵便番号・住所・氏名  
を記入してください

〒-  
村上市

様

縦向きに印刷してください